

★森のおはなし探検隊

到津の森にやって来る野鳥のガイド付き観察会を開催します。

☆日 時：4月10日(日) 10:00 から 1時間程度

☆集合場所：姿見の池前集合

☆参加費無料 (別途要入園料)



5/5(祝)【小学生まで入園無料】

5/3(祝)・4(祝)・5(祝) 営業時間【よる7時まで延長】

※但し、駐車場料金・遊具などは有料です。

【焼き絵師 Kazumi さん プロフィール】

門司区出身。幼少より絵を描き続け、水彩、油彩、パステル等の様々な画材や技法を渡り歩いた末に、モノトーンの濃淡と陰影だけで表現する Pyrography(Wood burning) と出会い、その技法を独学にて習得。

2005年日本ウッドバーニング協会主催、ウッドバーニングコンテスト出品作『咆哮』がB部門で金賞を受賞したのを機に本格的に作家活動を開始。

2010年、同コンテストにおいて『樹上の闘い』が準グランプリを受賞。

同年、Artbox より刊行の『愛猫美術 83人のアーティストによる猫』に作品が掲載され、同ギャラリーでの出版記念展に二作品を出展。

日本ワイルドライフアート協会会員。

詳しくは、HP もしくは到津の森公園(651-1895)まで、お問合わせ下さい。

森の仲間たち



「到津の森公園」公園事務所
北九州市小倉北区上到津 4-1-8
Tel 093-651-1895 〒803-0845
<http://www.itozu-zoo.jp/>

森のお便り 4月号 2016年

発行・編集 「到津の森公園」「森の仲間たち」16年4月1日発行 通巻 158号

春の企画展 ウッドバーニング Wood Burningの世界 3月19日(土)~5月31日(火)

静かに木の表面を眺めていると、
自然のモチーフが浮かび、
あたかも木と対話しているような感じがします。
— 焼き絵師 Kazumi —

北九州市出身の焼き絵師、Kazumi さんによる
焼き絵の展示会を下記のとおり開催します。
今にも木から飛び出してきそうな動物たちの世界を、
どうぞお楽しみください。

- 開催日時 3月19日(土) ~ 5月31日(火) 会期中は無休
9:00~17:00 ※5月3・4・5日は19:00まで
- 会場 管理センター2階ロビー
- 観覧料 無料 (入園料が必要)
- 内容 焼き絵(ウッドバーニング)とは、木の板や革に電熱ペンという専用ツールを使って少しずつ焦がしながら描くもので、一切の修正、やり直しのできない絵画です。今回は、この焼き絵約35点を展示します。

花暦 卯月

「せっかく桜が開き始めたのに、また寒くなったねー」「うん、『三日見ぬ間の桜かな』とはならんから、お花見にはいいんじゃない」「そやけどこんな空模様の続くと、くすんだ色の花がいつまでも散らず、意気が上がらん。やっぱり桜はパツと咲いてパツと散る豪勢な花吹雪が一番や・・・」。

おやおや、緑のベストを着けた年配のグループがやってきました。ボランティア「里山ガイドグループ」の面々です。ゆっくり談笑しながら、園内に勝手に住みついた草花やカエル・トンボ等の生き物、鬱蒼と茂る樹々を観察します。生き物館横の小さな池を覗き込めば、「デンジソウ(絶滅危惧種)の姿が消えたねえ」「そろそろカエルが産卵する頃かな」「田舎にはホースのごと太か卵のうがグルグル巻いとったけど、(これはどうもカスミサンショウウオ等の小型サンショウウオか)ここのは小さな固まりやねえ」「アカガエルらしいよ」

楽しい語らいの中で今までたくさんの事を教わることができました。

グループで手入れをしている「野草園」には、今年もスマレ・タツナミソウ・フタリシズカ等をはじめ、草々が芽をふき花をつけています。この地に馴染めなくなった住人がいつの間にか引越し先で根をはっている姿を見つけるのも、ホッとして嬉しいもの。植物の事なら手入れの仕方まで何でもござれのメンバー・オオサンショウウオの生息地を故郷に持ち、里山の事なら知識でなく体感のメンバー・あるいは一本の杭から、植物ネームプレート作りならお任せ・植物写真なら私に！

様々な個性のメンバーが到津に残る里山の魅力・楽しさを紹介しようと集まっています。あなたも私達と一緒に活動しませんか。

仲間になっていただく為の入会説明会は「到津の森公園事務所 093-651-1895」までご連絡下さい。

-----おばさん玉手箱-----

冬中、ベランダの椿の花に蜜を吸いにやって来ていたメジロ・ヒヨドリは、花盛りの野山に行ってしまいました。今は友人の家族のピッキー君(インコ)の為に、大鉢に栽培しているハコベにスズメがカップルでやって来て、小さな花や実をさかんについばんでいます。

文:花咲くおばさん

森のなかま・シマウマ

新入りシマウマ、その名も「フウコ」

2月23日、シマウマの「フウコ」(♀・1才)が、到津の森公園の新しい仲間に加わりました。大阪のみさき公園というところからやって来ました。

「フウコ」は、今到津の森公園にいる「ハッピー」の孫にあたります。お父さんは、2009年に「ハッピー」の息子として到津の森公園で生まれ、2011年にみさき公園にお引越しをした「ピース」です。その「ピース」も、今や立派なお父さんです。

シマウマに限らず、動物園の多くの動物たちが、成長すると他の動物園に行き、そこで新たな命をつなぐことが出来るようにと、日本中の動物園が協力し合っています。こうしてまた、新たな命が到津の森公園へ戻ってくることは、私たち飼育員にとってはとても喜ばしいことです。

さて、「フウコ」ですが、とても人懐っこくて、到津の森公園にやって来た初日から手渡しで餌を食べてくれるなど、とても可愛らしい子です。今は、早く到津の森公園の環境に慣れるための練習を頑張っています。徐々に行動範囲を広げてあげながら運動場まで出る練習をし、運動場に慣れたら、次は今いる「ハッピー」と「エルメス」と仲良くなる練習、といった具合です。しっかりと練習を重ねて、1日でも早く皆さんにお会いできる日が来ることを楽しみにしています。



飼育展示係 宮崎 和宏